

【生活行動関係】

1 学習・自己啓発・訓練

(1) 1年間に「学習・自己啓発・訓練」を行った人は27万8千人、行動者率は29.1%

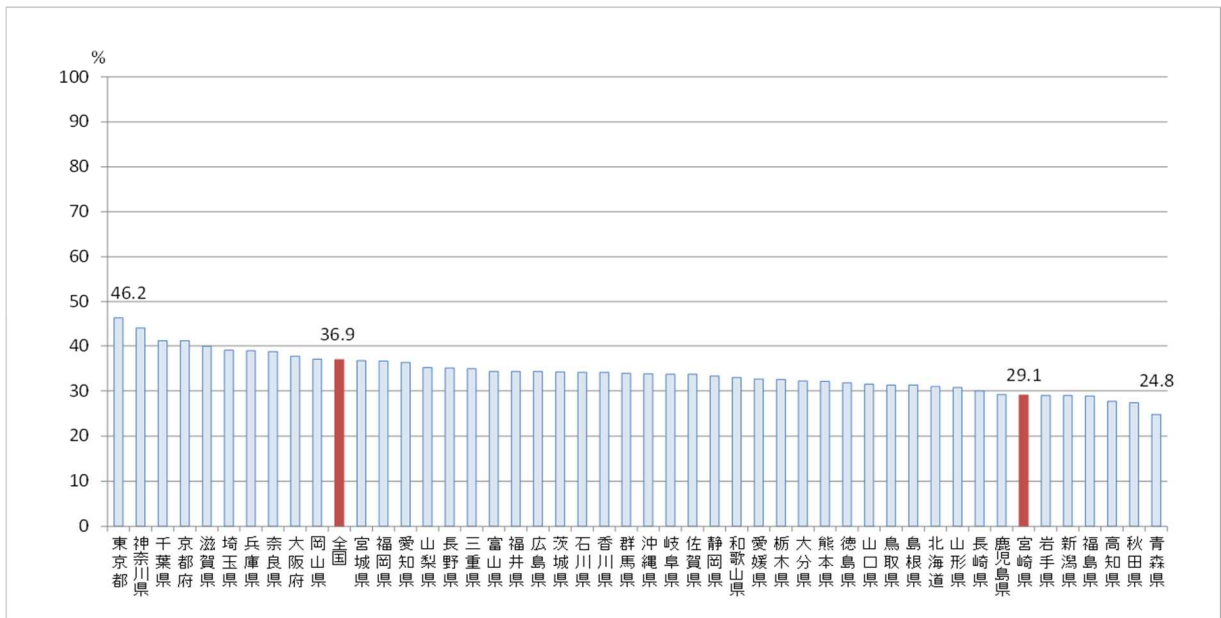
過去1年間（平成27年10月20日～28年10月19日）に本県の10歳以上（推定95万5千人）で「学習・自己啓発・訓練」を行った人の数（以下「行動者数」という。）は27万8千人で、10歳以上人口に占める割合（以下「行動者率」という。）は29.1%となっている。これは全国平均の36.9%に比べ7.8ポイント低く、全国で第41位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が12万8千人、女性が15万人となっており、行動者率は男性が28.4%、女性が29.7%で、女性が男性より1.3ポイント高くなっている。

本県の行動者率は、平成23年と比べると0.5ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が0.9ポイントの低下、女性が0.2ポイントの低下となっている。

（図1-1）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率（10歳以上）



(2) 男女ともにほとんどの年齢階級で行動者率が全国平均を下回る。

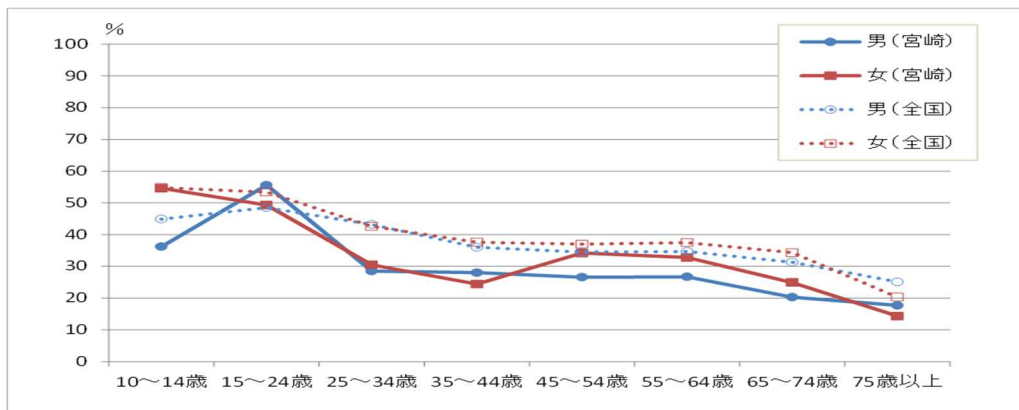
本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、10～14歳、25～34歳及び45～74歳で女性が男性を上回り、15～24歳、35～44歳及び75歳以上については男性が女性を上

回っている。

また、本県と全国を比べてみると、男性は15～24歳を除く全ての年齢階級で全国平均を下回っている。特に25～34歳及び65～74歳では大きく下回っている。女性は全ての年齢階級で全国平均を下回っており、特に25～44歳では大きく下回っている。

(図1-2)

図1-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「学習・自己啓発・訓練」行動者率

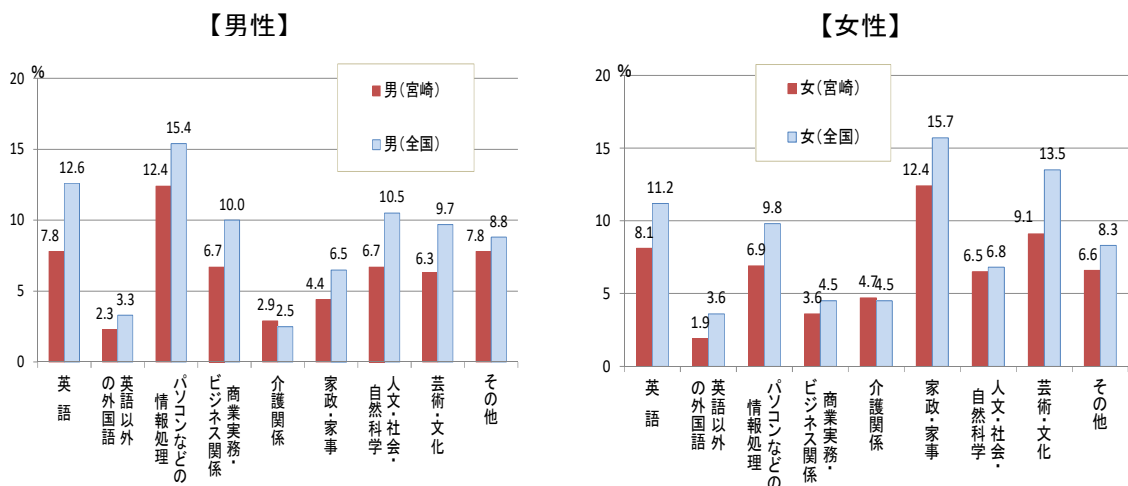


(3) 男女ともに「介護関係」の行動者率は全国平均を上回る。

種類別に本県の行動者率をみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が最も高く、次いで「英語」、「商業実務・ビジネス関係」及び「人文・社会・自然科学」の順となっている。女性は「家政・家事」が最も高く、次いで「芸術・文化」、「英語」の順となっている。

全国と比較すると、男女ともに「介護関係」は全国平均を上回っているが、その他の種類は全て全国平均を下回っている。特に男性は「英語」、女性は「芸術・文化」で全国平均を大きく下回っている。(図1-3)

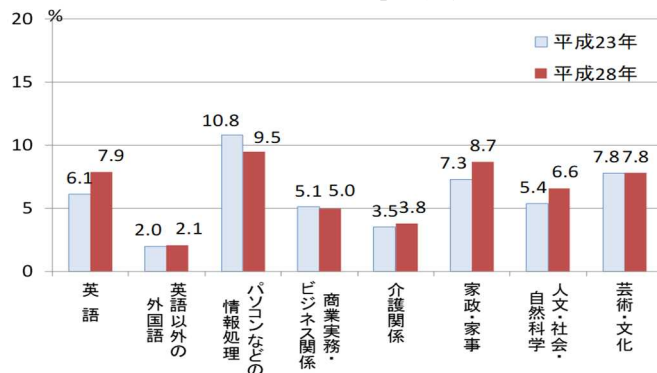
図1-3 本県と全国の男女別、種類別「学習・自己啓発・訓練」行動者率



(4) 「英語」が5年前と比べて上昇

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、上昇が一番大きいものは「英語」で1.8ポイントの上昇、低下が一番大きいものは「パソコンなどの情報処理」で1.3ポイントの低下となっている。(図1-4)

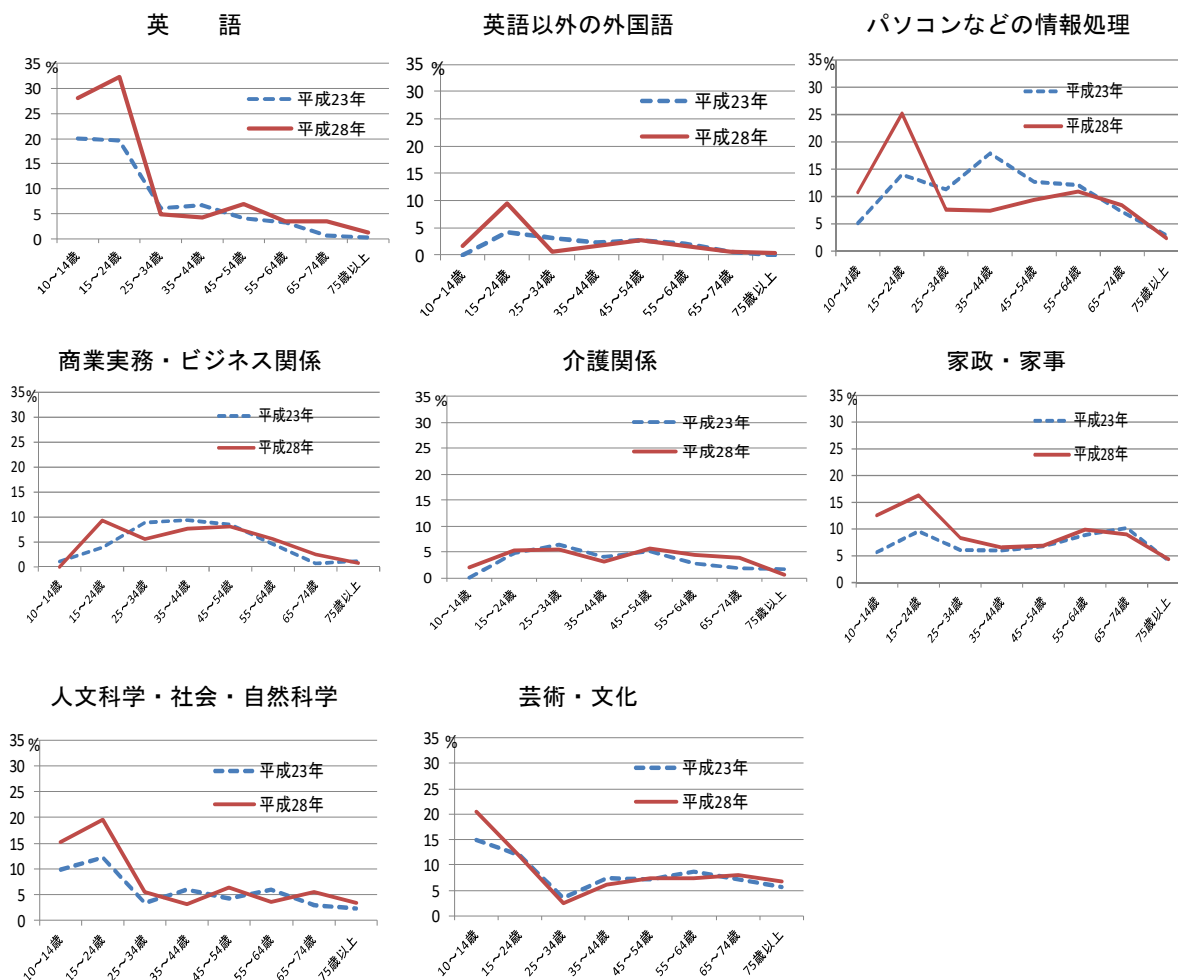
図1-4 本県の「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(平成23年、28年)



(5) 65~74歳を除く全ての年齢階級で「家政・家事」が上昇

「学習・自己啓発・訓練」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成23年と比べると、「家政・家事」は65~74歳を除く全ての年齢階級で上昇している。(図1-5)

図1-5 本県の「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率(平成23年、28年)



2 ボランティア活動

(1) 1年間に「ボランティア活動」を行った人は27万8千人、行動者率は29.1%

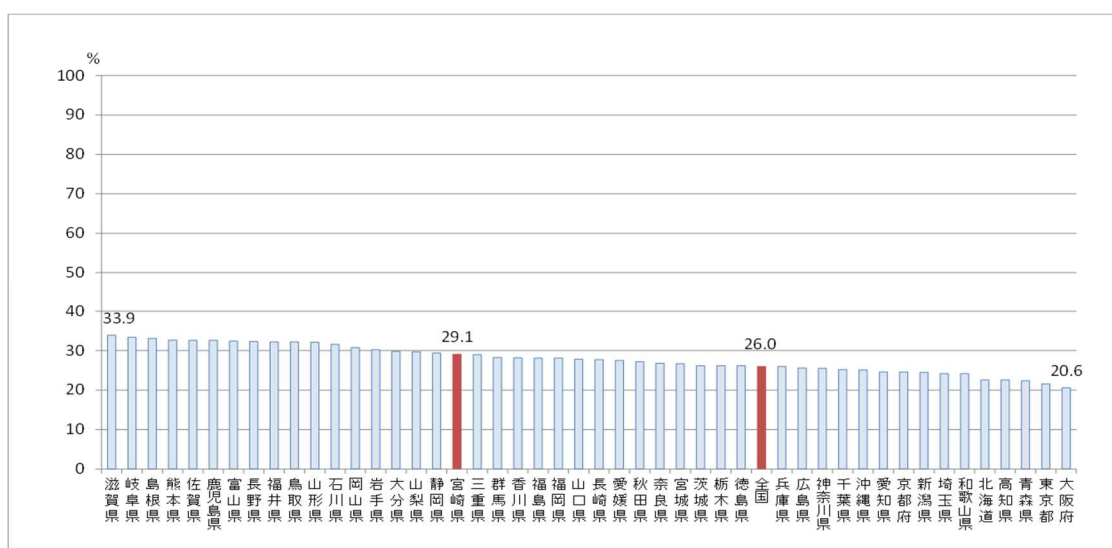
過去1年間の本県の10歳以上の「ボランティア活動」の行動者数は27万8千人で、10歳以上の行動者率は29.1%となっている。これは全国平均の26.0%に比べ3.1ポイント高く、全国で第18位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が13万3千人、女性が14万6千人となっており、行動者率は男性が29.5%、女性が28.8%で、男性が女性より0.7ポイント高くなっている。

本県の行動者率は、平成23年と比べると1.3ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が0.2ポイントの上昇、女性が2.3ポイントの上昇となっている。

(図2-1)

図2-1 「ボランティア活動」の行動者率(10歳以上)

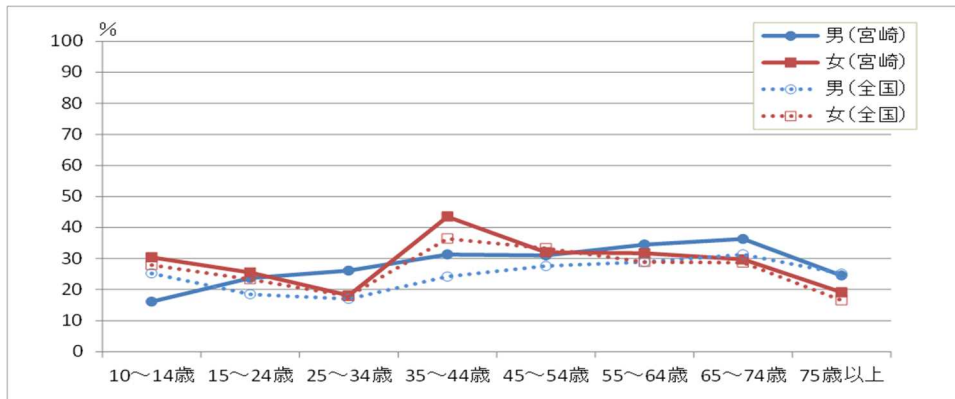


(2) 男性は10～14歳及び75歳以上、女性は45～54歳を除く年齢階級で全国平均を上回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、10～24歳及び35～54歳では女性が男性を上回り、25～34歳及び55歳以上については男性が女性を上回っている。

また、本県と全国を比べてみると、男性の10～14歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で全国平均を上回っている。女性は45～54歳を除く全ての年齢階級で全国平均を上回っている。(図2-2)

図 2-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「ボランティア活動」行動者率

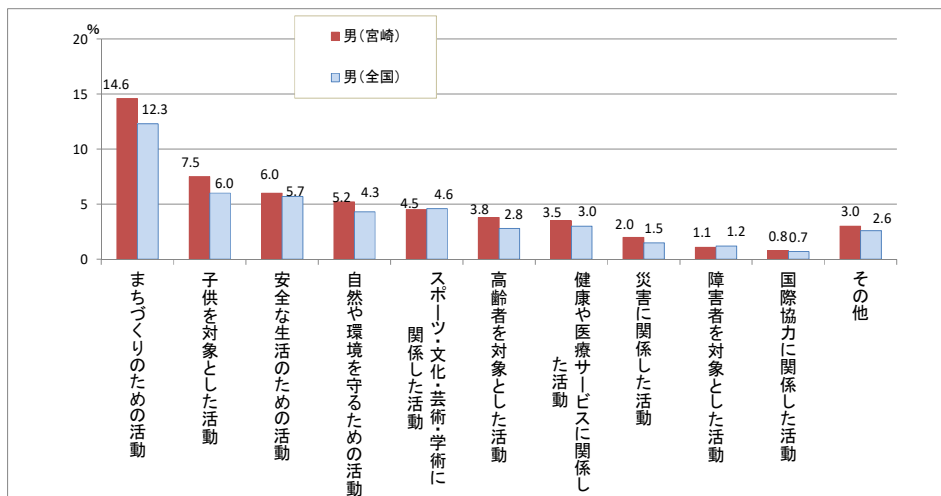


(3) 男女ともに「まちづくりのための活動」、「子供を対象とした活動」の行動者率が高い。

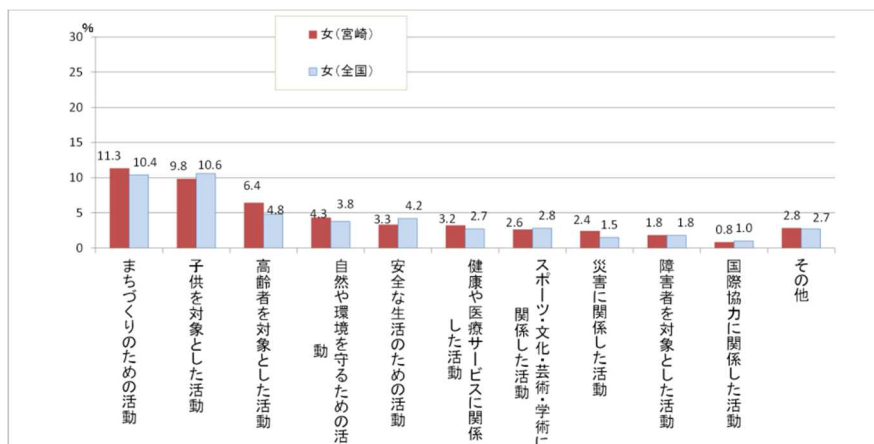
種類別に本県の行動者率をみると、男性は「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「子供を対象とした活動」、「安全な生活のための活動」の順となっている。女性は「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで、「子供を対象とした活動」、「高齢者を対象とした活動」の順となっている。

全国と比較すると、男性は「スポーツ・文化・芸術・学術に関する活動」及び「障害者を対象とした活動」を除く全ての種類で全国平均を上回っている。女性は「まちづくりのための活動」、「高齢者を対象とした活動」、「自然や環境を守るための活動」、「健康や医療サービスに関する活動」及び「災害に関する活動」で全国平均を上回っている。(図 2-3)

図 2-3 本県と全国の男女別、種類別「ボランティア活動」行動者率
【男性】



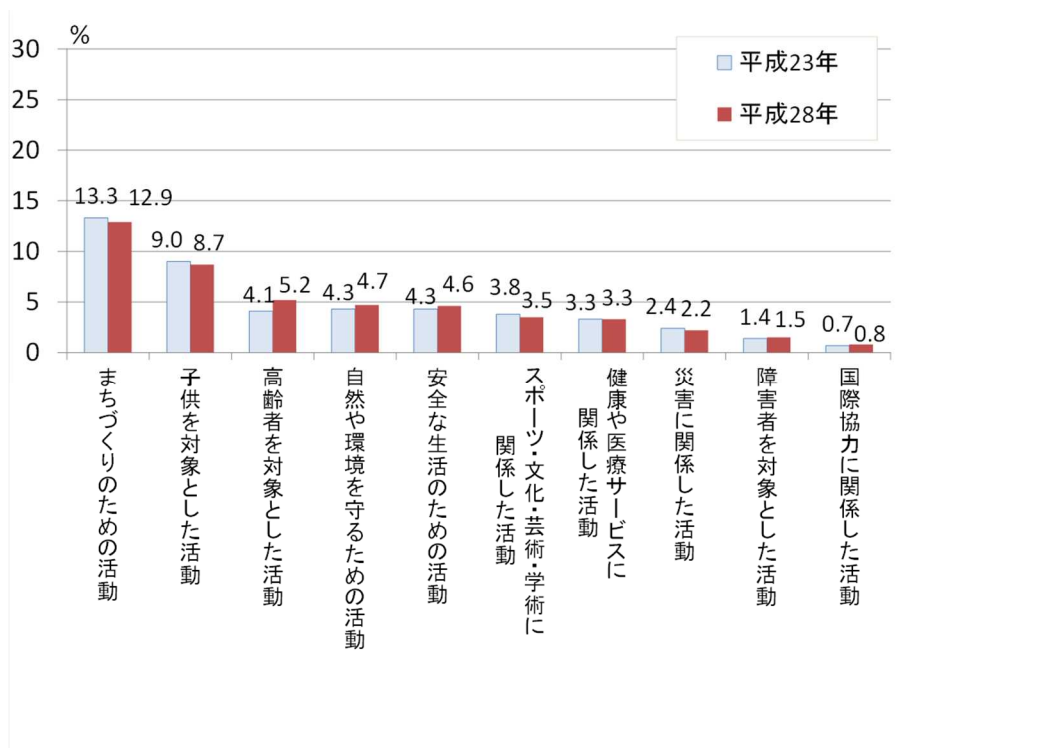
【女性】



(4) 「高齢者を対象とした活動」が5年前と比べて上昇

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、上昇が一番大きいものは「高齢者を対象とした活動」で1.1ポイントの上昇、次いで「自然や環境を守るための活動」が0.4ポイントの上昇となっている。低下が一番大きいものは「まちづくりのための活動」で0.4ポイントの低下、次いで「子供を対象とした活動」及び「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が0.3ポイントの低下となっている。(図2-4)

図2-4 本県の「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成23年、28年)



(5) 「高齢者を対象とした活動」は25歳以上の年齢階級で5年前を上回る。

「ボランティア活動」の行動者率を種類、年齢階級別に平成23年と比べると、「高齢者を対象とした活動」は25歳以上の年齢階級で5年前を上回っている。

一方、「まちづくりのための活動」は、10～54歳で5年前を下回っている。

(図2-5)

図2-5 本県の「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

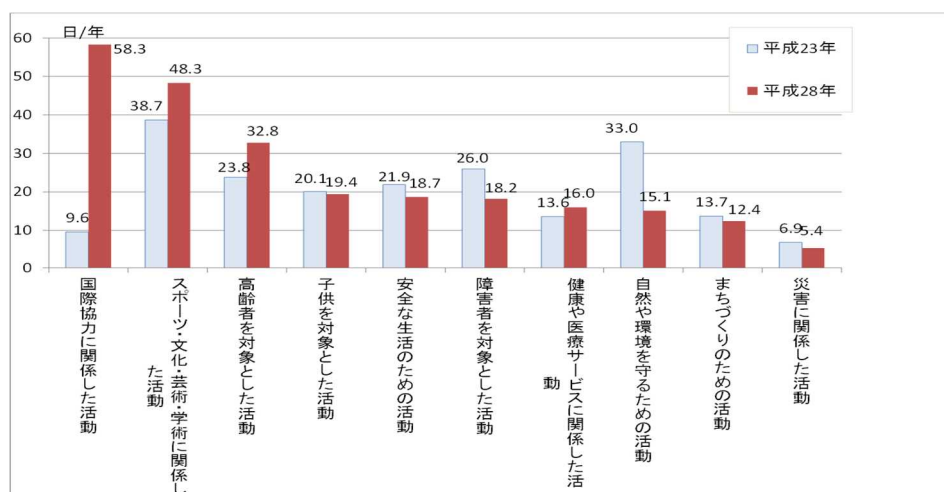


(6) 平均行動日数は「国際協力に関係した活動」が最も多い。

行動者について平均した過去1年間の行動日数（以下平均行動日数という。）を種類別にみると、「国際協力に関係した活動」が58.3日と最も多く、次いで「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が48.3日などとなっている。

平成23年と比べると、「国際協力に関係した活動」が48.7日、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が9.6日増加しており、「自然や環境を守るための活動」が17.9日、「障害者を対象とした活動」が7.8日減少している。（図2-6）

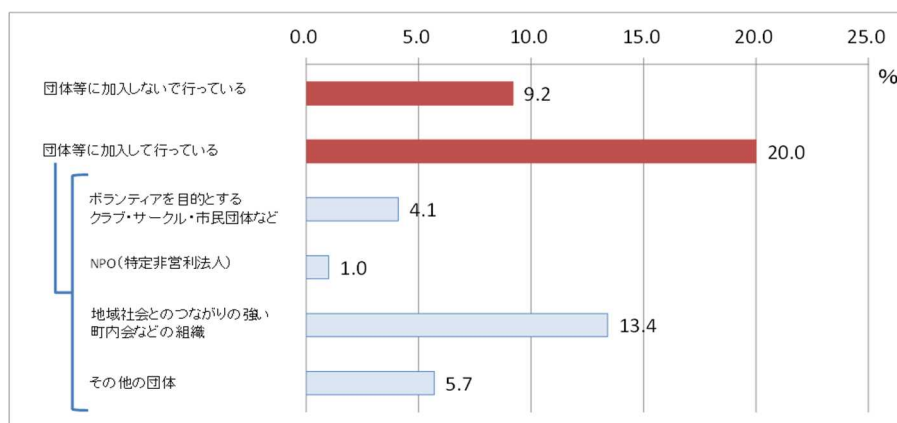
図2-6 「ボランティア活動」の種類別平均行動日数（平成23年、28年）



(7) 「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に加入しての行動者率が最も高い。

「ボランティア活動」の行動者率を形態別にみると、「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に加入しての行動者率が最も高くなっている。（図2-7）

図2-7 「ボランティア活動」の形態別行動者率



3 スポーツ

(1) 1年間に「スポーツ」を行った人は61万6千人、行動者率は64.5%

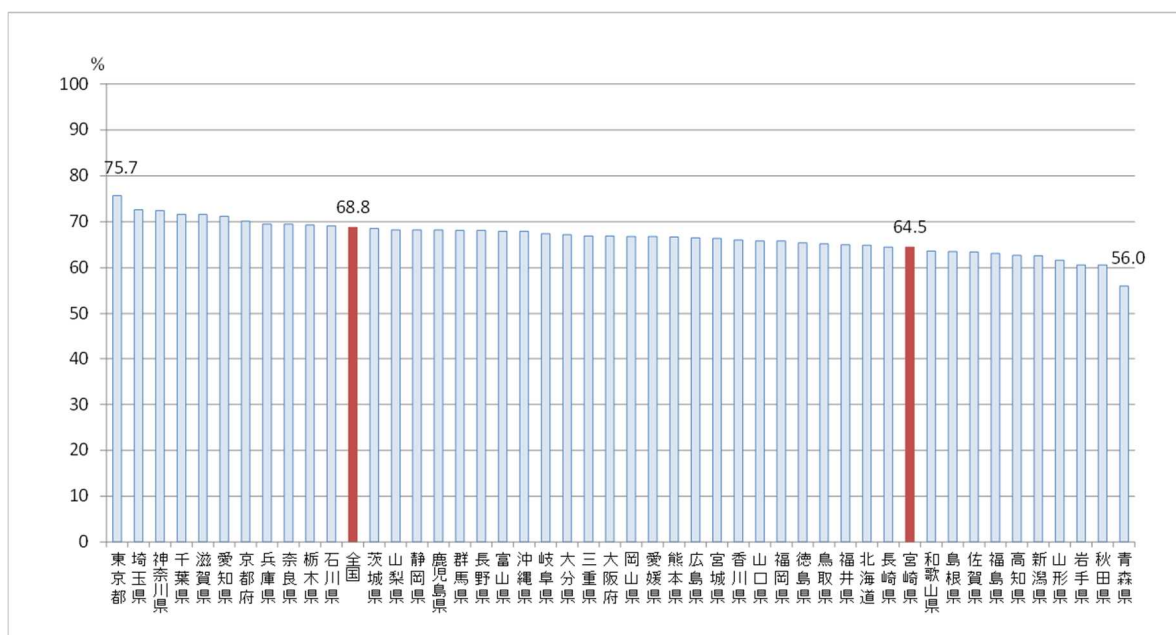
過去1年間の本県の10歳以上の「スポーツ」の行動者数は61万6千人で、10歳以上の行動者率は64.5%となっている。これは全国平均の68.8%に比べ4.3ポイント低く、長崎県と並び全国で第36位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が31万4千人、女性が30万2千人となっており、行動者率は男性が69.8%、女性が59.8%で、男性が女性より10.0ポイント高くなっている。

本県の行動者率は、平成23年と比べると2.6ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が2.0ポイントの上昇、女性が3.1ポイントの上昇となっている。

(図3-1)

図3-1 「スポーツ」の行動者率(10歳以上)

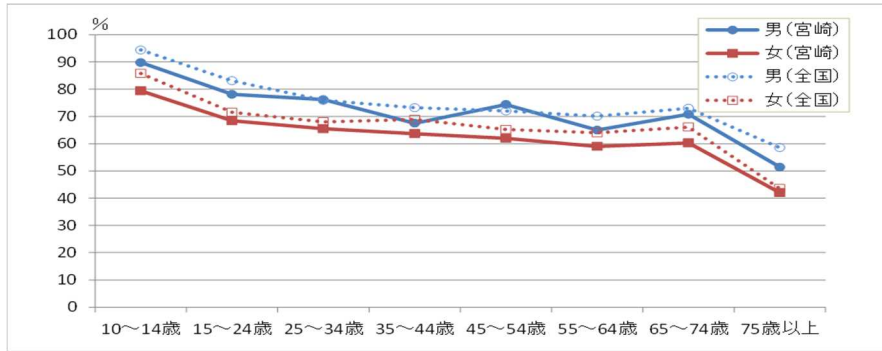


(2) 全ての年齢階級で男性の行動者率が女性を上回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、全ての年齢階級で男性が女性を上回っている。特に45～54歳での差が大きい。

また、本県と全国を比べてみると、男性の25～34歳及び45～54歳は全国平均を上回っている。女性は全ての年齢階級で全国平均を下回っている。(図3-2)

図3-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「スポーツ」行動者率

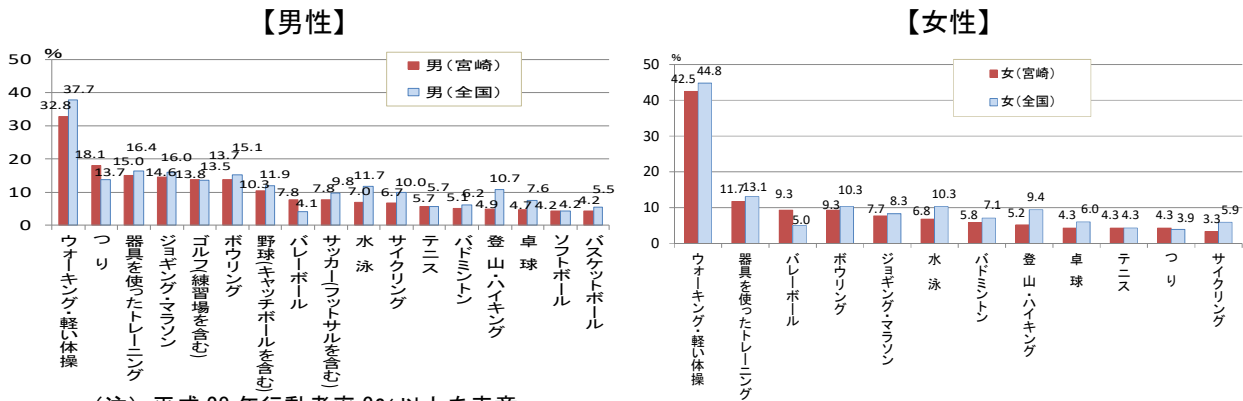


(3) 「バレーボール」の行動者率が全国で第1位

種類別に本県の行動者率をみると、男性は「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「つり」、「器具を使ったトレーニング」の順となっている。女性は「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」、「バレーボール」の順となっている。(図3-3)

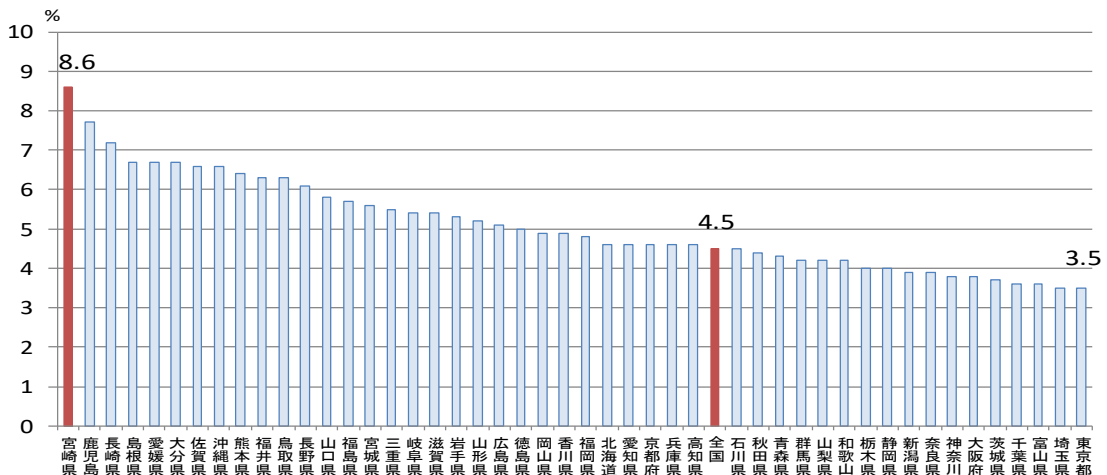
全国と比較すると、「バレーボール」が全国平均の4.5%に比べ4.1ポイント高い8.6%で、全国で第1位となっている。(図3-4)

図3-3 本県と全国の男女別、種類別「スポーツ」行動者率



(注) 平成28年行動者率3%以上を表章

図3-4 「バレーボール」の行動者率(10歳以上)

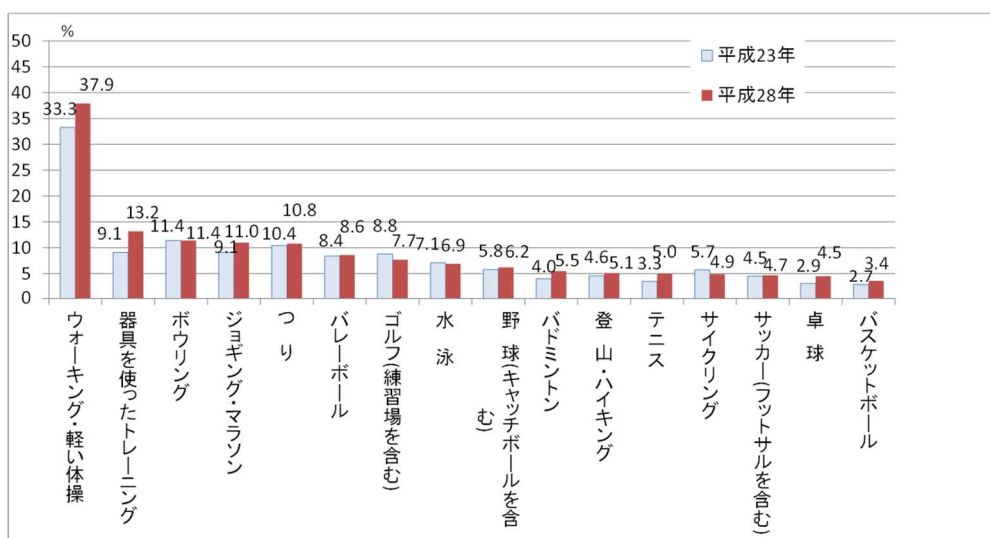


(4) 「ウォーキング・軽い体操」が5年前と比べて上昇

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、多くの種類で行動者率が上昇している。上昇が一番大きいものは「ウォーキング・軽い体操」で4.6ポイントの上昇、次いで「器具を使ったトレーニング」が4.1ポイントの上昇となっている。

一方、低下が大きいものは「ゴルフ（練習場を含む）」で1.1ポイントの低下、「サイクリング」で0.8ポイントの低下となっている。（図3-5）

図3-5 本県の「スポーツ」の種類別行動者率（平成23年、28年）



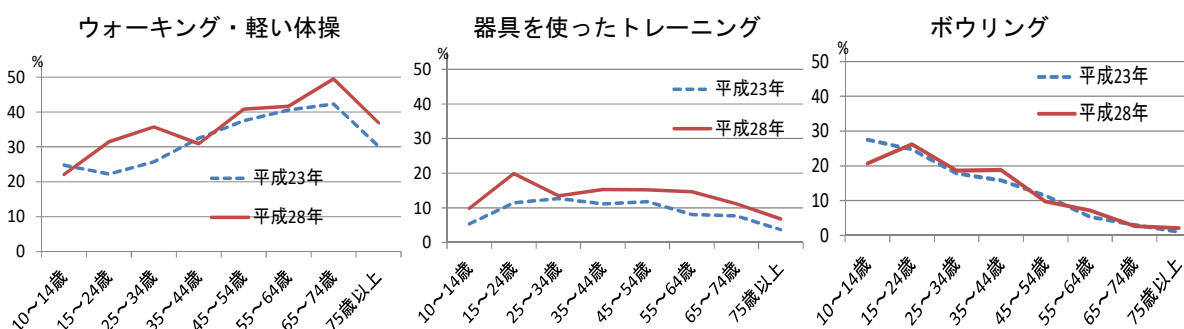
(注) 平成28年行動者率3%以上を表章

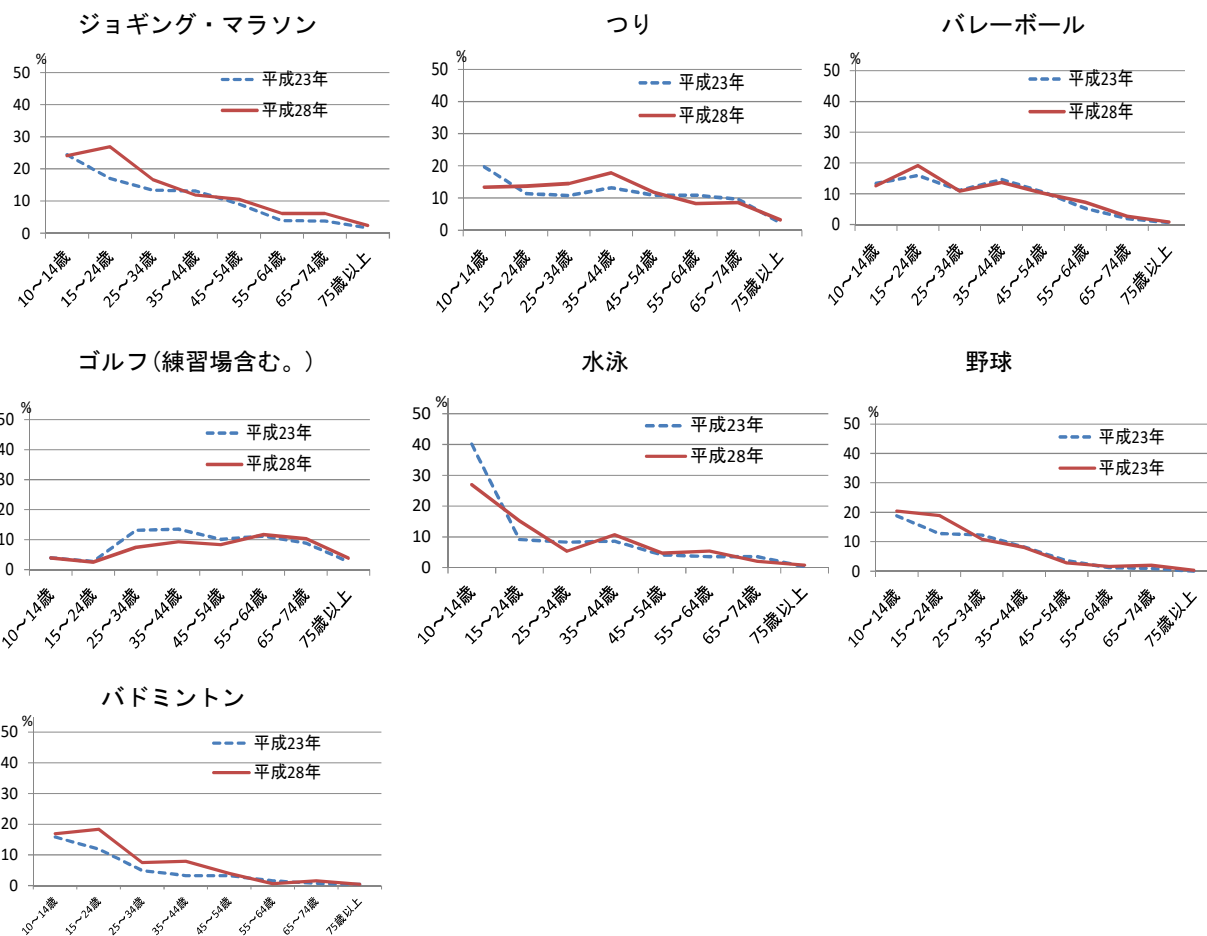
(5) 「器具を使ったトレーニング」は全ての年齢階級で5年前を上回る。

「スポーツ」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成23年と比べると、「器具を使ったトレーニング」は全ての年齢階級で5年前を上回っている。

また75歳以上の階級では上昇している種類が多く、特に「ウォーキング・軽い運動」は6.7ポイント上昇している。（図3-6）

図3-6 「スポーツ」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



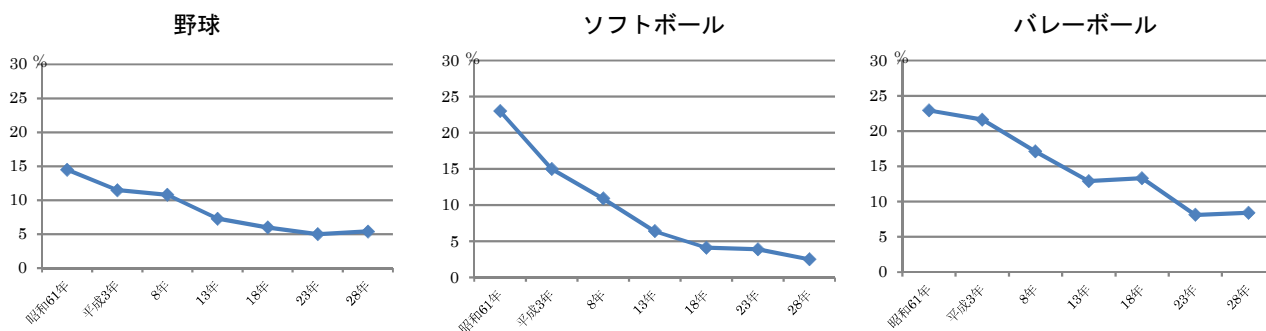


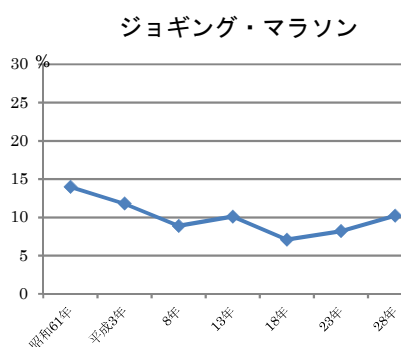
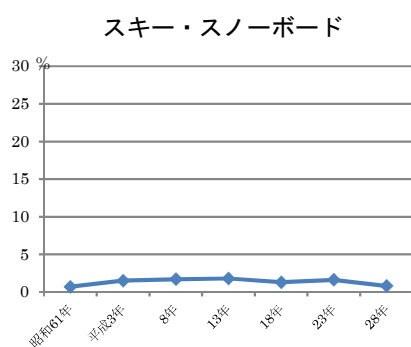
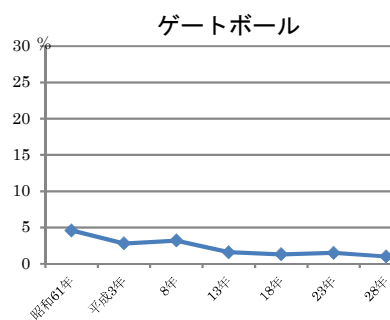
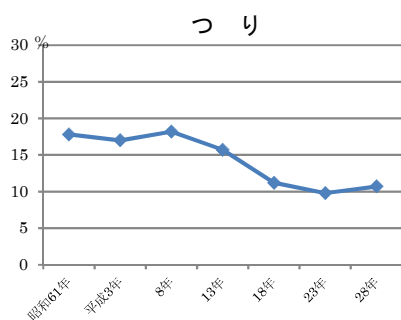
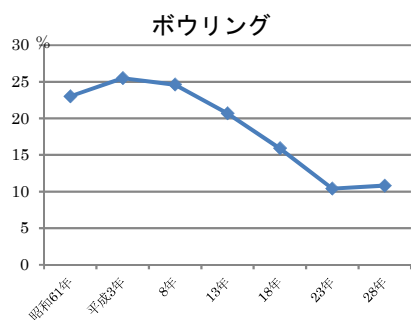
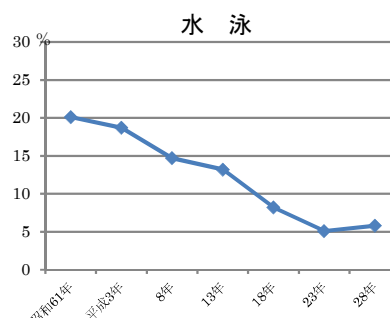
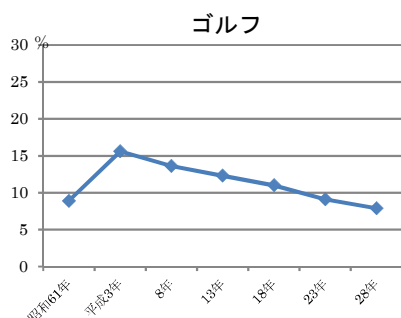
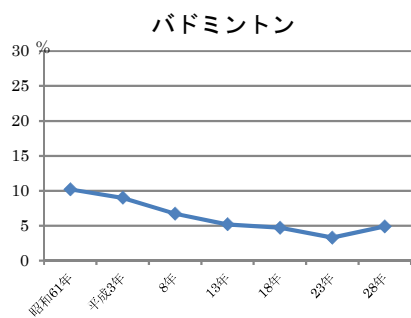
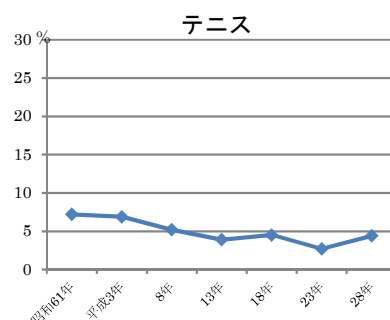
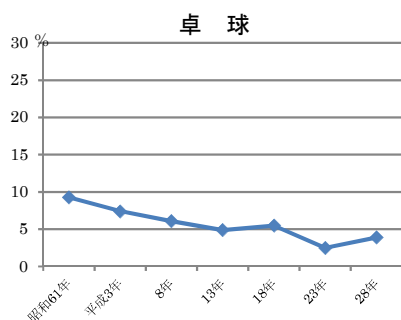
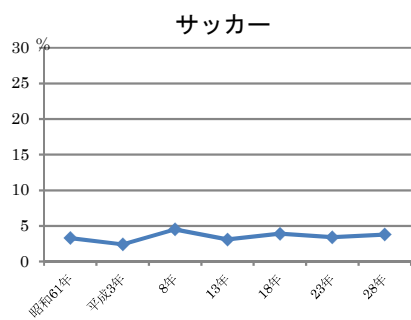
(注) 平成 28 年行動者率 3%以上を表章

(6) 過去 30 年間の推移をみると、全体的に低下傾向

過去 30 年間で比較可能な「スポーツ」の行動者率 (15 歳以上) の推移を種類別にみると、全体的に低下傾向にあり、「ソフトボール」、「ゴルフ」及び「ゲートボール」は過去 30 年間で最低となった。(図 3-7)

図 3-7 「スポーツ」の種類別行動者率の推移 (15 歳以上)





(注)「スポーツ」の種類は、調査年次により種目数が異なるため比較可能な種類を表章

「スキー・スノーボード」の平成3年以前の調査項目名は「スキー」

4 趣味・娯楽

(1) 1年間に「趣味・娯楽」を行った人は77万3千人、行動者率は81.0%

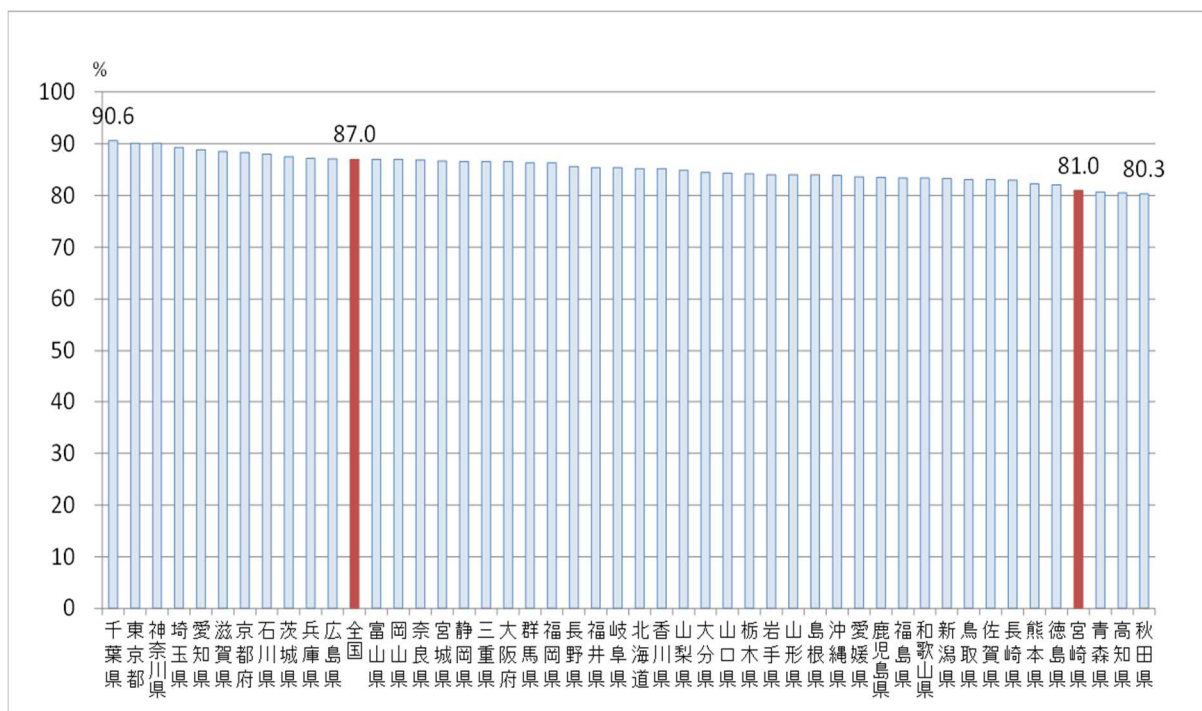
過去1年間の本県の10歳以上の「趣味・娯楽」の行動者数は77万3千人で、10歳以上の行動者率は81.0%となっている。これは全国平均の87.0%に比べ6.0ポイント低く、全国で第44位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が36万5千人、女性が40万9千人となっており、行動者率は男性が81.1%、女性が80.9%で、男性が女性より0.2ポイント高くなっている。

本県の行動者率は、平成23年と比べると2.3ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が2.4ポイントの上昇、女性が2.2ポイントの上昇となっている。

(図4-1)

図4-1 「趣味・娯楽」の行動者率(10歳以上)

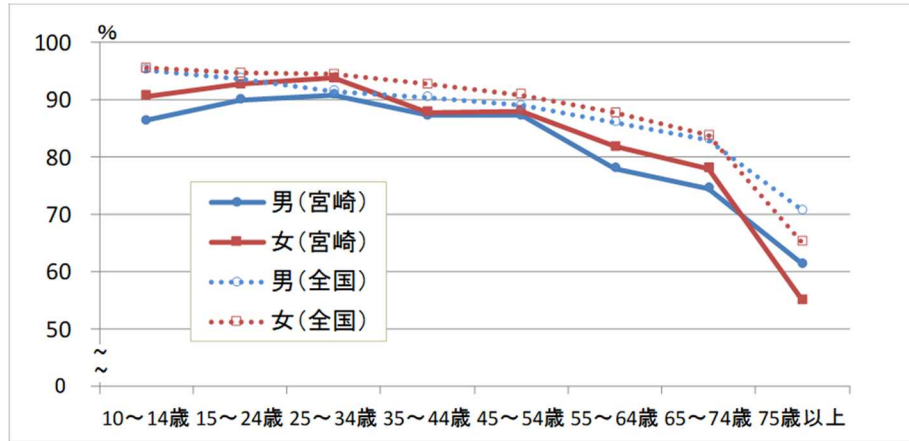


(2) 男女ともに全ての年齢階級で全国平均を下回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。

また、本県と全国を比べてみると、男女ともに全ての年齢階級で全国平均を下回っており、特に75歳以上で大きく下回っている。(図4-2)

図4-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「趣味・娯楽」行動者率

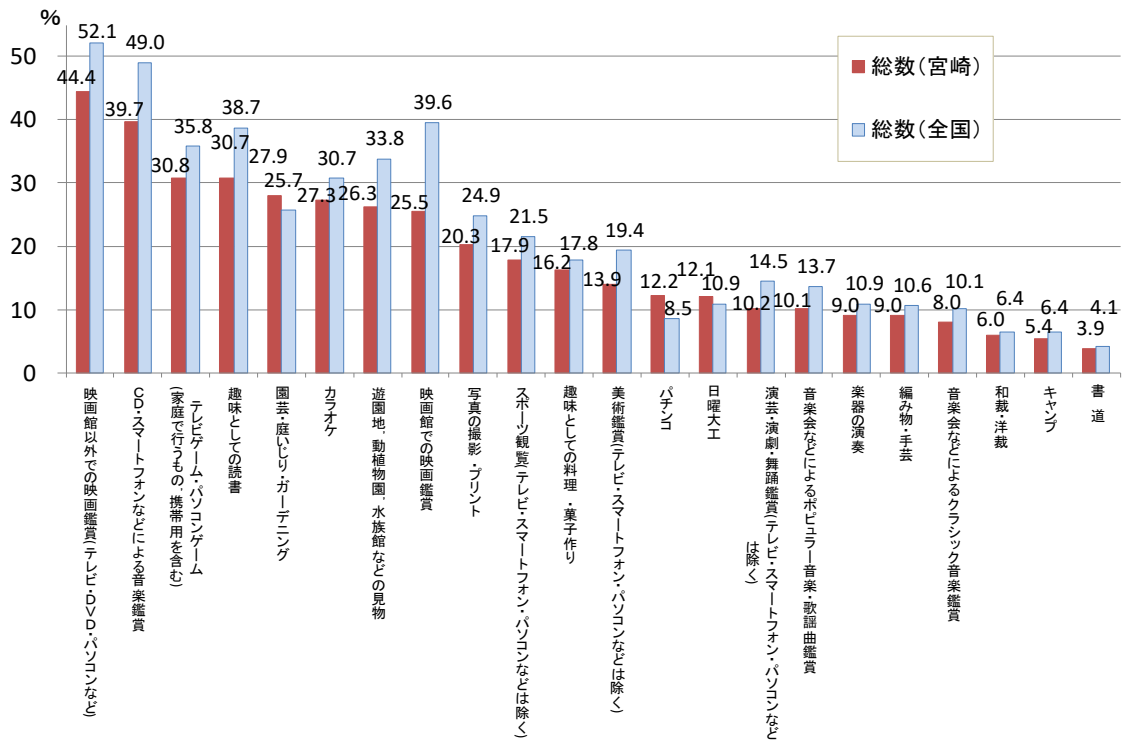


(3) 「パチンコ」の行動者率が全国で第3位

種類別に本県の行動者率をみると、「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」が最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が高くなっている。（図4-3）

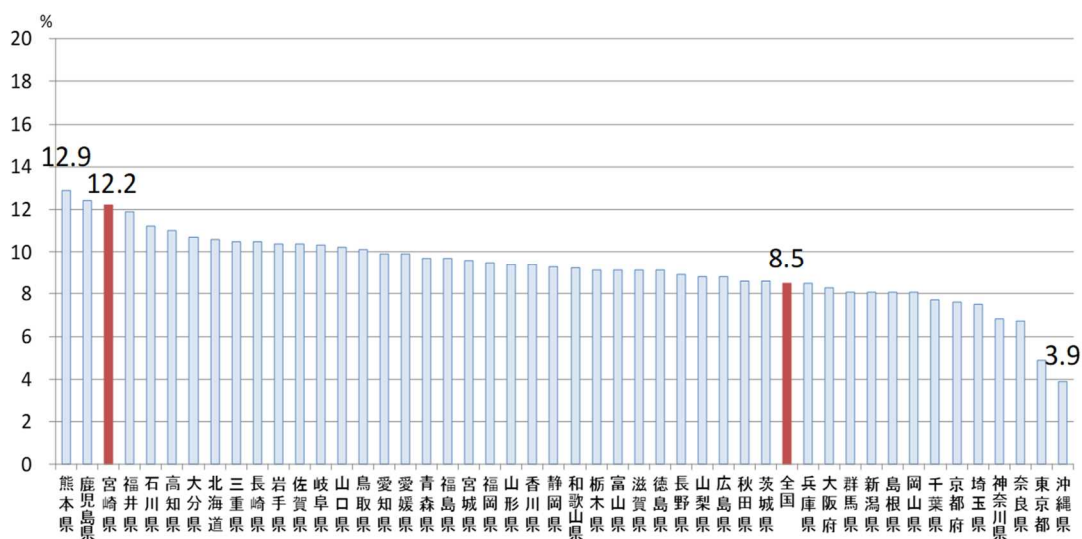
全国と比較すると、「パチンコ」が全国平均の8.5%に比べ3.7ポイント高い12.2%で、全国で第3位となっている。（図4-4）

図4-3 本県と全国の種類別「趣味・娯楽」行動者率



(注) 平成28年行動者率3%以上を表章

図4-4 「パチンコ」の行動者率（10歳以上）

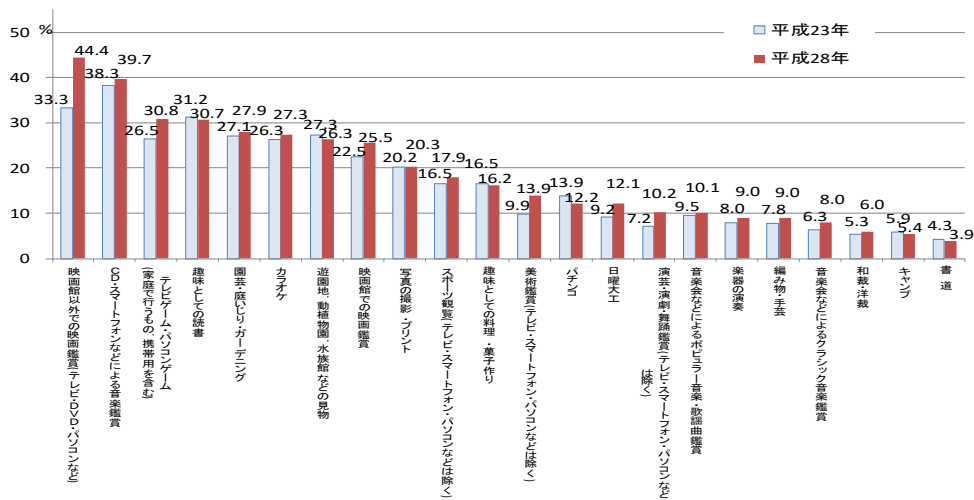


(4) 「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」が5年前と比べて上昇

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、ほとんどの種類で行動者率が上昇している。上昇が一番大きいものは「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」で11.1ポイントの上昇、次いで「テレビゲーム・パソコンゲーム（家庭で行うもの、携帯用を含む）」が4.3ポイントの上昇となっている。

一方、低下が一番大きいものは「パチンコ」で1.7ポイントの低下、次いで「遊園地、動物園、水族館などの見物」が1.0ポイントの低下となっている。（図4-5）

図4-5 本県の「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）

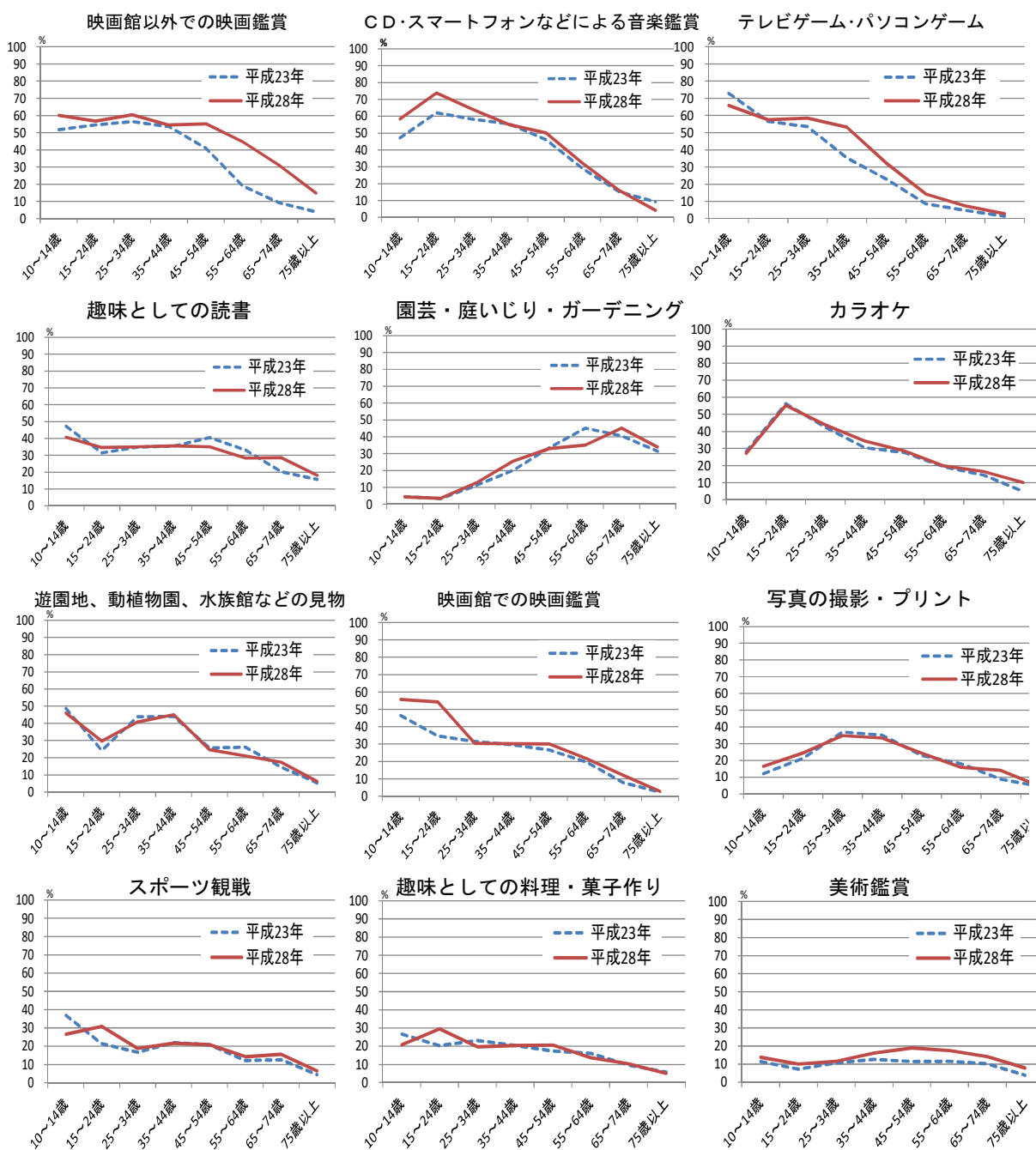


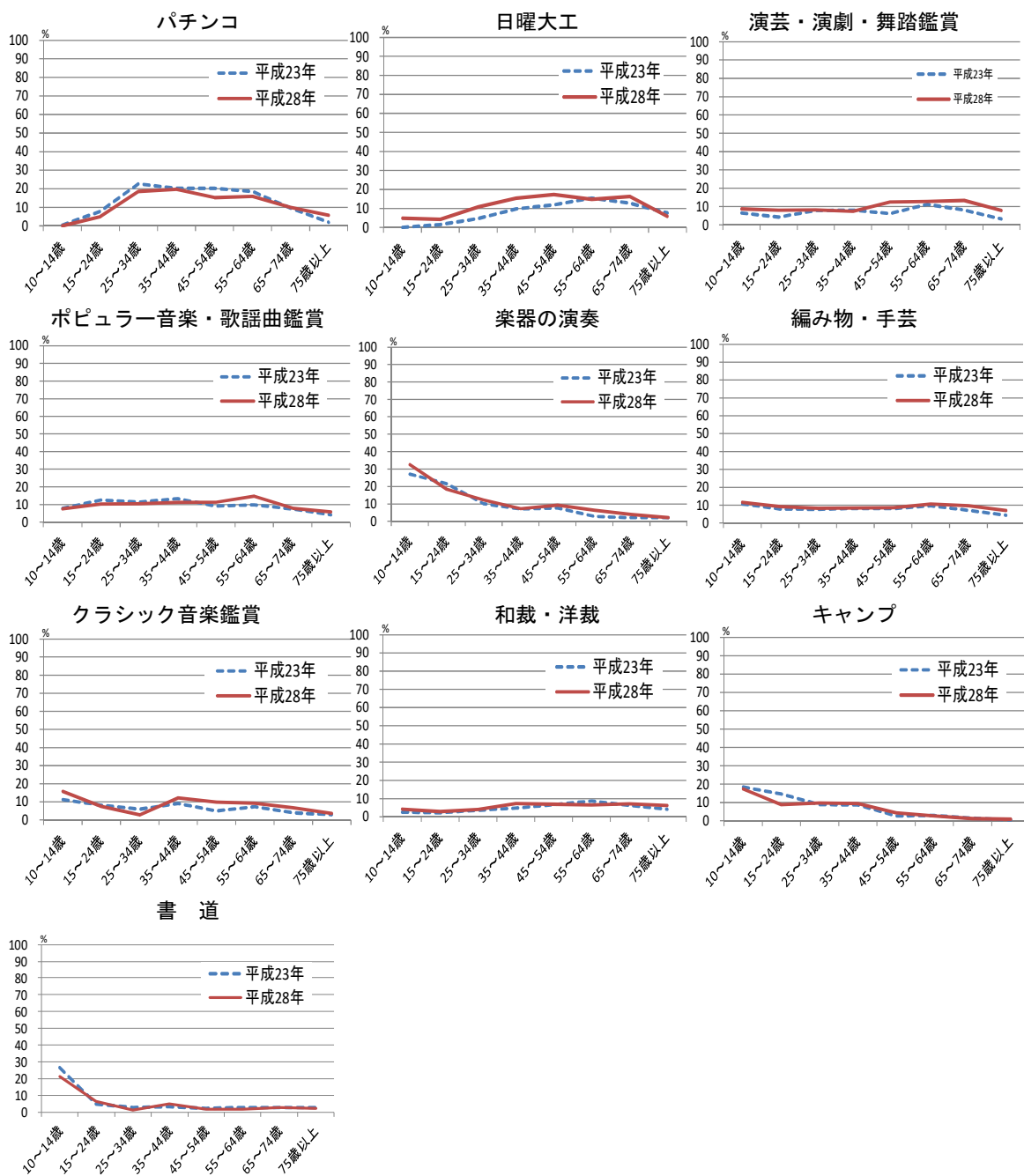
(注) 平成28年行動者率3%以上を表章

(5) 「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」、「美術鑑賞」及び「編み物・手芸」は全ての年齢階級で5年前を上回る。

「趣味・娯楽」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成23年と比べると、「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」、「美術鑑賞」及び「編み物・手芸」は全ての年齢階級で5年前を上回っている。（図4-6）

図4-6 「趣味・娯楽」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

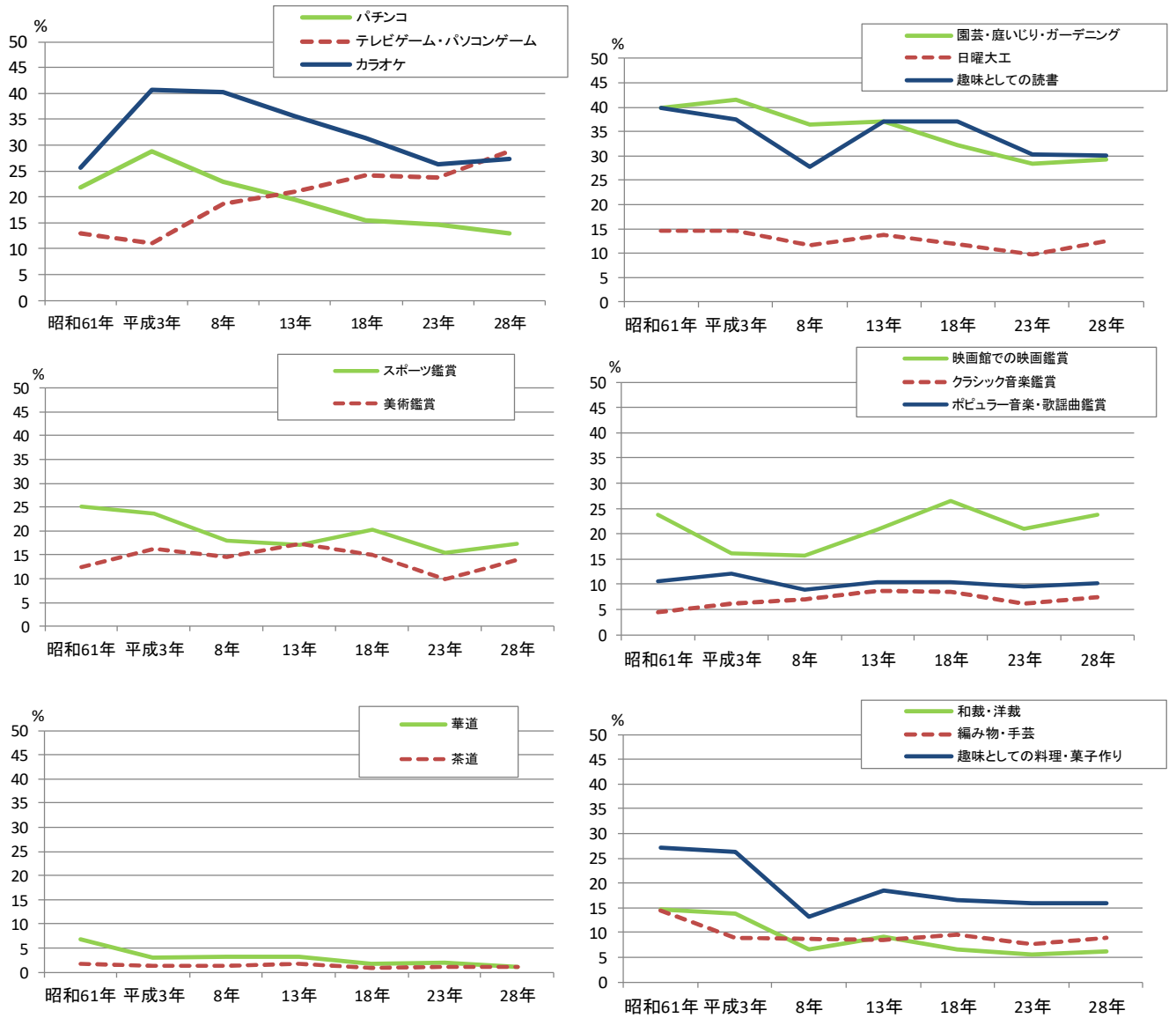




(注) 平成 28 年行動者率 3%以上を表章

- (6) 過去 30 年間の推移をみると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は大きく上昇
 過去 30 年間で比較可能な「趣味・娯楽」の行動者率 (15 歳以上) の推移を種類別
 に見ると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は大きく上昇している。
 一方、「パチンコ」は平成 3 年をピークに低下傾向にある。(図 4-7)

図4-7 「趣味・娯楽」の種類別行動者率の推移（15歳以上）



(注)「趣味・娯楽」の種類は、調査年次により種目数が異なるため比較可能な種類を表章
 「趣味としての料理・菓子作り」の平成3年以前の調査項目名は「料理・菓子作り」
 「テレビゲーム・パソコンゲーム」の平成13年以前の調査項目名は「テレビゲーム」

5 旅行・行楽

(1) 1年間に「旅行・行楽」を行った人は63万人、行動者率は65.9%

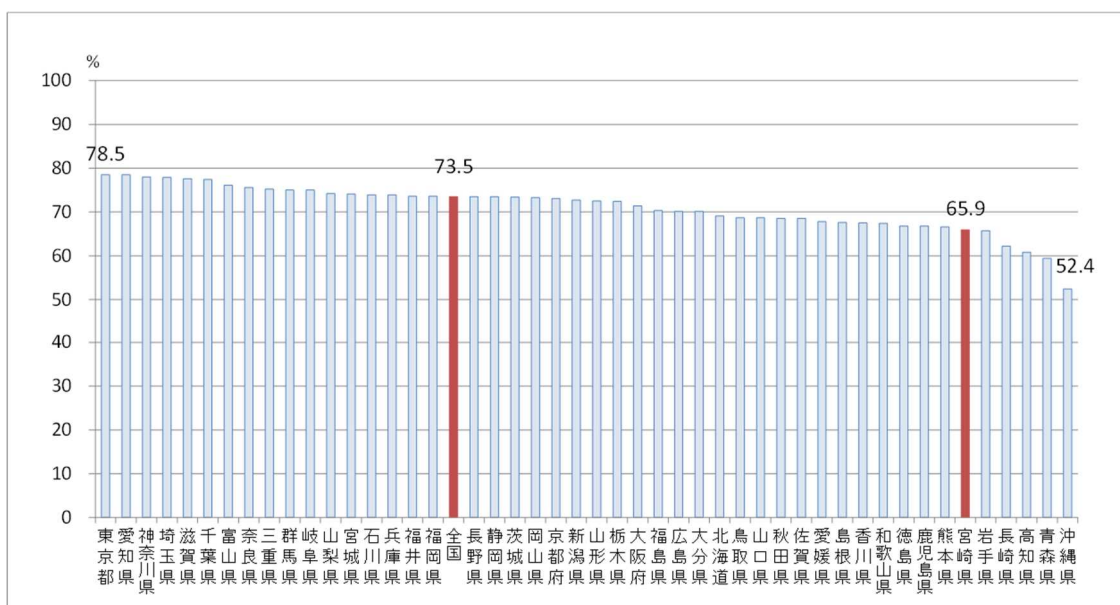
過去1年間の本県の10歳以上の「旅行・行楽」の行動者数は63万人で、10歳以上の行動者率は65.9%となっている。これは全国平均の73.5%に比べ7.6ポイント低く、全国で第42位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が28万2千人、女性が34万8千人となっており、行動者率は男性が62.7%、女性が68.8%で、女性が男性より6.1ポイント高くなっている。

本県の行動者率は、平成23年と比べると1.0ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が0.1ポイントの低下、女性が2.2ポイントの上昇となっている。

(図5-1)

図5-1 「旅行・行楽」の行動者率(10歳以上)



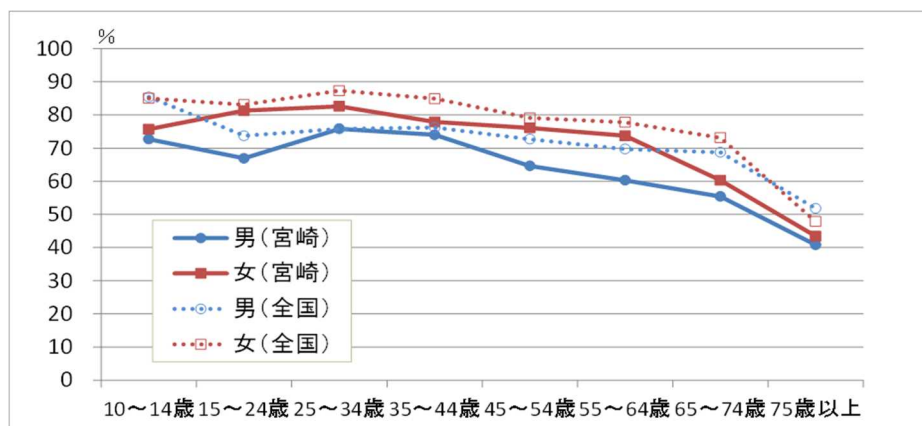
(2) 全ての年齢階級で女性が男性を上回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。特に15~24歳での差が大きい。

また、本県と全国を比べてみると、男性の25~34歳を除く全ての年齢階級で全国平均を下回っており、特に男女ともに65~74歳の階級で全国平均を下回っている。

(図5-2)

図5-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「旅行・行楽」行動者率



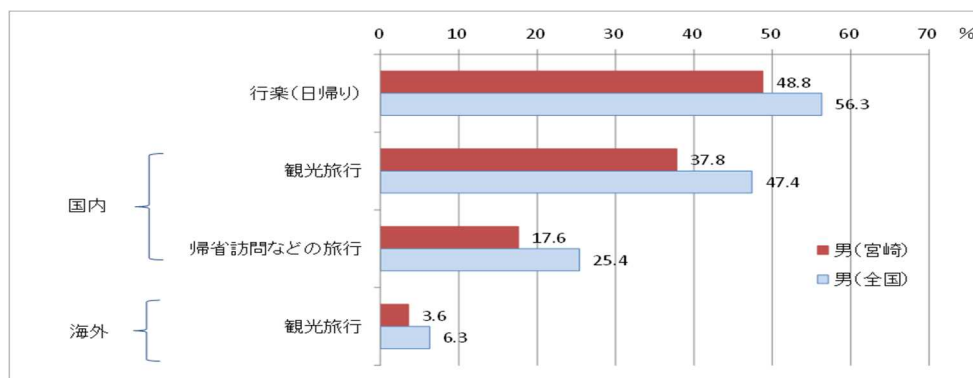
(3) 男女ともに全ての種類で全国平均を下回る。

種類別に本県の行動者率をみると、海外の「観光旅行」を除く全ての種類で女性の方が高くなっている。

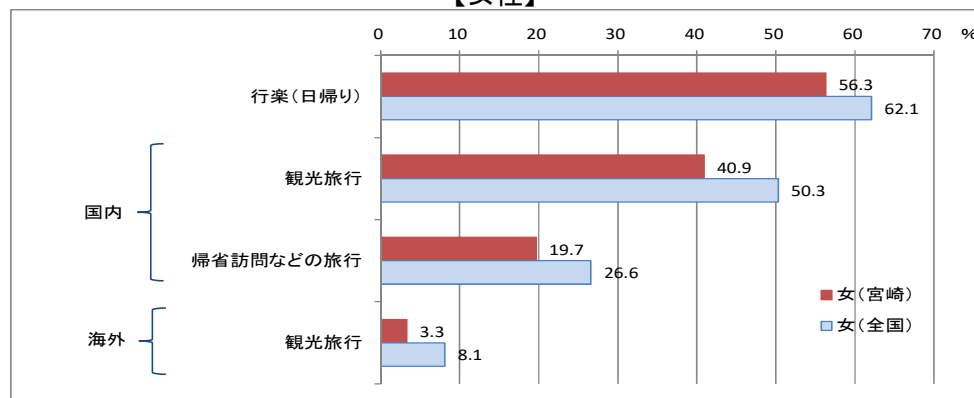
全国と比較すると、男女ともに全ての種類で全国平均を下回っている。(図5-3)

図5-3 本県と全国の男女別、種類別「旅行・行楽」行動者率

【男性】



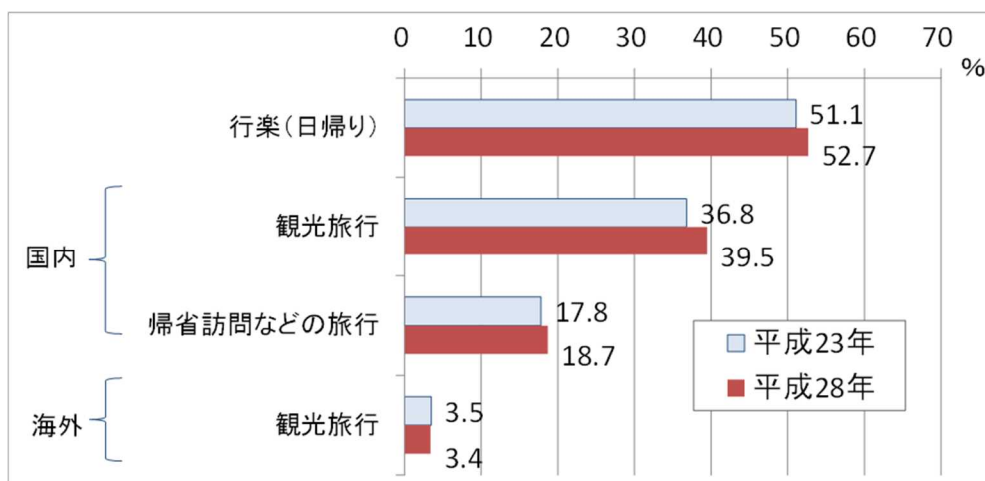
【女性】



(4) 海外の「観光旅行」を除く全ての種類で行動者率が5年前を上回る。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、海外の「観光旅行」を除く全ての種類で行動者率が上昇している。上昇が一番大きいものは国内の「観光旅行」で2.7ポイントの上昇、次いで「行楽（日帰り）」が1.6ポイントの上昇、国内の「帰省訪問などの旅行」が0.9ポイントの上昇となっている。（図5-4）

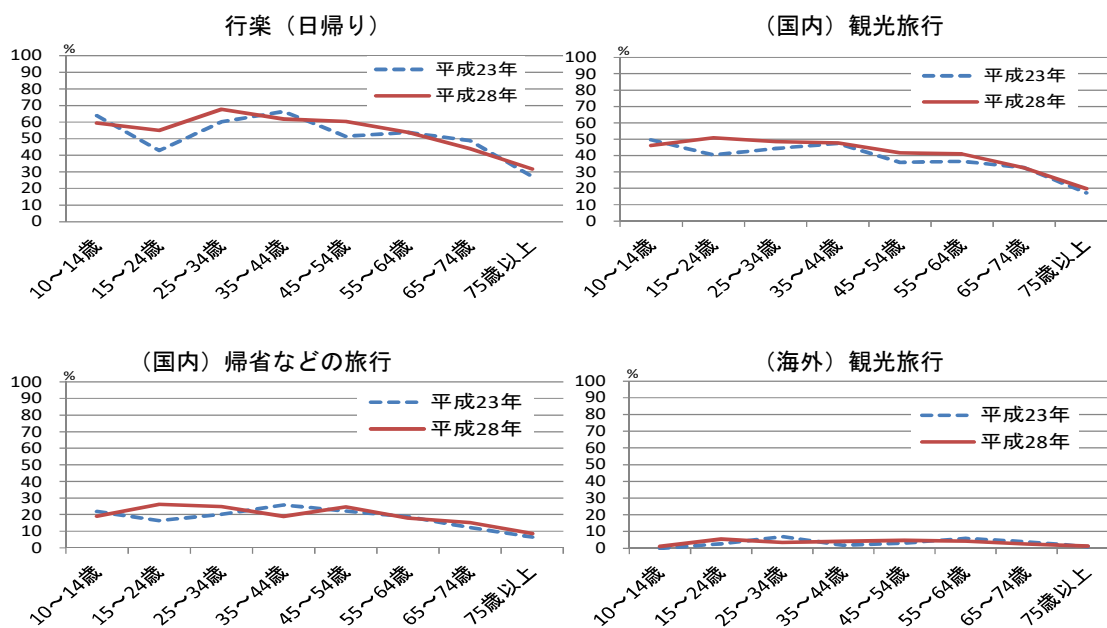
図5-4 本県の「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）



(5) 15~24歳、45~54歳及び75歳以上は全ての種類で5年前を上回る。

「旅行・行楽」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成23年と比べると、15~24歳、45~54歳及び75歳以上では、全ての種類で5年前を上回っている。特に、15~24歳における上昇が大きくなっている。（図5-5）

図5-5 「旅行・行楽」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

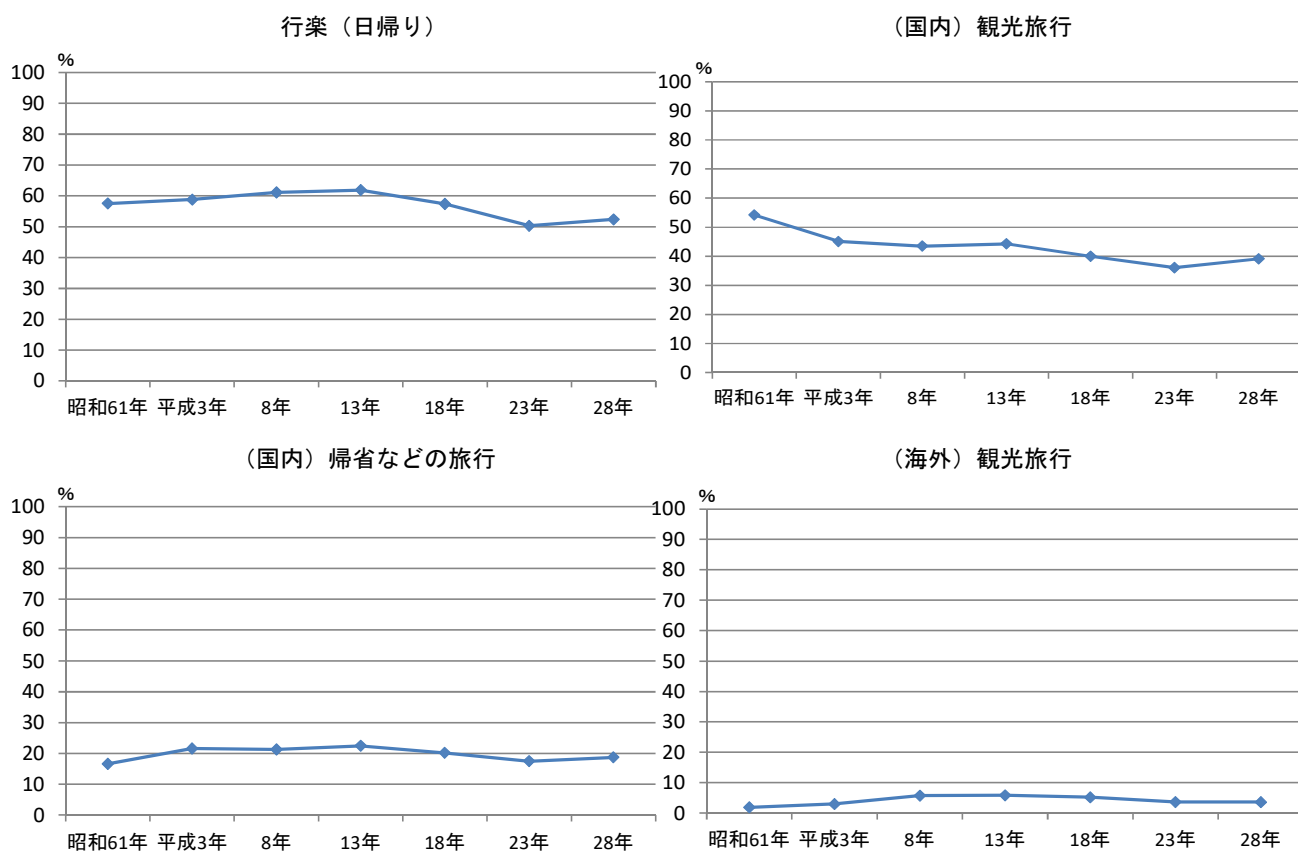


(6) 過去30年間の推移をみると、国内の「観光旅行」がピーク時から大きく低下している。

過去30年間で比較可能な「旅行・行楽」の行動者率（15歳以上）の推移を種類別にみると、平成18年から平成23年にかけては、全ての種類が低下していたが、平成28年は海外の「観光旅行」を除く全ての種類で上昇に転じている。

国内の「観光旅行」はピークの昭和61年と平成28年を比べると大きく低下し、15.1ポイントの低下となっている。（図5-6）

図5-6 「旅行・行楽」の種類別行動者率の推移（15歳以上）



6 行動者率全国ランキング

学習・自己啓発・訓練		ボランティア活動		スポーツ		趣味・娯楽		旅行・行楽	
	全国 36.9		全国 26.0		全国 68.8		全国 87.0		全国 73.5
1	東京都 46.2	1	滋賀県 33.9	1	東京都 75.7	1	千葉県 90.6	1	東京都 78.5
2	神奈川県 43.9	2	岐阜県 33.4	2	埼玉県 72.6	2	東京都 90.1	2	愛知県 78.5
3	千葉県 41.1	3	島根県 33.1	3	神奈川県 72.4		神奈川県 90.1	3	神奈川県 78.0
	京都府 41.1	4	熊本県 32.7	4	千葉県 71.6	4	埼玉県 89.3	4	埼玉県 77.9
5	滋賀県 39.9	5	佐賀県 32.6		滋賀県 71.6	5	愛知県 88.8	5	滋賀県 77.6
6	埼玉県 39.0		鹿児島県 32.6	6	愛知県 71.2	6	滋賀県 88.5	6	千葉県 77.4
7	兵庫県 38.9	7	富山県 32.4	7	京都府 70.1	7	京都府 88.3	7	富山県 76.1
8	奈良県 38.7	8	長野県 32.3	8	兵庫県 69.5	8	石川県 88.0	8	奈良県 75.6
9	大阪府 37.7	9	福井県 32.2		兵庫県 69.5	9	茨城県 87.5	9	三重県 75.2
10	岡山県 37.0		鳥取県 32.2	10	栃木県 69.3	10	兵庫県 87.2	10	群馬県 75.0
11	宮城県 36.7	11	山形県 32.1	11	石川県 69.1	11	広島県 87.1	11	岐阜県 75.0
12	福岡県 36.6	12	石川県 31.6	12	茨城県 68.5	12	富山県 87.0	12	山梨県 74.2
13	愛知県 36.3	13	岡山県 30.8	13	山梨県 68.2		岡山県 87.0	13	宮城県 74.1
14	山梨県 35.2	14	岩手県 30.2		静岡県 68.2	14	奈良県 86.9	14	石川県 73.9
15	長野県 35.1	15	大分県 29.8		鹿児島県 68.2	15	宮城県 86.7	15	兵庫県 73.9
16	三重県 34.9	16	山梨県 29.7	16	群馬県 68.1	16	静岡県 86.6	16	福井県 73.6
17	富山県 34.3	17	静岡県 29.4		長野県 68.1		三重県 86.6		福岡県 73.6
	福井県 34.3	18	宮崎県 29.1	18	富山県 67.9		大阪府 86.6	18	長野県 73.5
	広島県 34.3	19	三重県 29.0		沖縄県 67.9	19	群馬県 86.3		静岡県 73.5
20	茨城県 34.2	20	群馬県 28.3	20	岐阜県 67.4		福岡県 86.3	20	茨城県 73.4
21	石川県 34.1	21	香川県 28.2	21	大分県 67.2	21	長野県 85.6	21	岡山県 73.3
	香川県 34.1	22	福島県 28.1	22	三重県 66.9	22	福井県 85.4	22	京都府 73.1
23	群馬県 33.9		福岡県 28.1		大阪府 66.9		岐阜県 85.4	23	新潟県 72.7
24	沖縄県 33.8	24	山口県 27.8	24	岡山県 66.8	24	北海道 85.2	24	山形県 72.5
25	岐阜県 33.7	25	長崎県 27.7		愛媛県 66.8		香川県 85.2	25	栃木県 72.4
	佐賀県 33.7	26	愛媛県 27.5	26	熊本県 66.7	26	山梨県 84.9	26	大阪府 71.4
27	静岡県 33.3	27	秋田県 27.2	27	広島県 66.5	27	大分県 84.5	27	福島県 70.3
28	和歌山県 33.0	28	奈良県 26.8	28	宮城県 66.4	28	山口県 84.3	28	広島県 70.1
29	愛媛県 32.6	29	宮城県 26.7	29	香川県 66.0	29	栃木県 84.2	29	大分県 70.1
30	栃木県 32.5	30	茨城県 26.2	30	山口県 65.8	30	岩手県 84.0	30	北海道 69.1
31	大分県 32.2		栃木県 26.2		福岡県 65.8		山形県 84.0	31	鳥取県 68.7
32	熊本県 32.1		徳島県 26.2	32	徳島県 65.4		島根県 84.0		山口県 68.7
33	徳島県 31.8	33	兵庫県 26.0	33	鳥取県 65.2	33	沖縄県 83.9	33	秋田県 68.5
34	山口県 31.5	34	広島県 25.6	34	福井県 65.0	34	愛媛県 83.6		佐賀県 68.5
35	鳥取県 31.3	35	神奈川県 25.5	35	北海道 64.9	35	鹿児島県 83.5	35	愛媛県 67.8
	島根県 31.3	36	千葉県 25.2	36	長崎県 64.5	36	福島県 83.4	36	島根県 67.6
37	北海道 31.0	37	沖縄県 25.1		宮崎県 64.5		和歌山県 83.4	37	香川県 67.5
38	山形県 30.8	38	愛知県 24.6	38	和歌山県 63.6	38	新潟県 83.3	38	和歌山県 67.4
39	長崎県 30.0	39	京都府 24.6	39	島根県 63.5	39	鳥取県 83.1	39	徳島県 66.8
40	鹿児島県 29.2	40	新潟県 24.5	40	佐賀県 63.4		佐賀県 83.1		鹿児島県 66.8
41	宮崎県 29.1	41	埼玉県 24.2	41	福島県 63.1	41	長崎県 83.0	41	熊本県 66.6
42	岩手県 29.0		和歌山県 24.2	42	高知県 62.7	42	熊本県 82.3	42	宮崎県 65.9
	新潟県 29.0	43	北海道 22.6	43	新潟県 62.6	43	徳島県 82.1	43	岩手県 65.7
44	福島県 28.9		高知県 22.6	44	山形県 61.6	44	宮崎県 81.0	44	長崎県 62.2
45	高知県 27.7	45	青森県 22.4	45	岩手県 60.6	45	青森県 80.7	45	高知県 60.8
46	秋田県 27.4	46	東京都 21.6	46	秋田県 60.6	46	高知県 80.5	46	青森県 59.4
47	青森県 24.8	47	大阪府 20.6	47	青森県 56.0	47	秋田県 80.3	47	沖縄県 52.4